

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月09日

計画の名称	日進駅周辺地区(2期)都市再生整備計画												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	さいたま市												
計画の目標	安全で良好な住環境と利便性が高い地域生活拠点の形成 目標1 駅前広場等の整備による、日進駅の交通結節機能の向上 目標2 歩行者空間確保による、七夕通りの活性化 目標3 都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	132	A	132	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		1=H23, 3=H21~26		R2
1	七夕通り歩行者自転車交通量			
	七夕通り歩行者自転車交通量	7590台	台	7940台
	七夕通りの駅前広場側の起点における、平日12時間交通量(朝7時~夕7時)			
2	歩行者通行環境改善満足度			
	歩行者通行環境改善満足度	0%	%	50%
	歩行者通行環境に関する満足度調査において、満足・概ね満足と答えた回答者の割合			
3	七夕祭りの入り込み客数			
	七夕祭りの入り込み客数	147000人	人	158000人
	七夕通りにおいて実施される日進七夕祭りの入り込み客数(2日間合計)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標2は当初現況値なし												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	日進駅周辺地区(2期)都市再生整備計画事業	都市再生A=33.8ha	さいたま市	■					84		—	
	A10-002	都市再生	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	日進駅周辺地区(2期)都市再生整備計画事業	都市再生A=33.8ha	さいたま市					■	48		—	
											小計							132		
										合計							132			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 都市局まちづくり推進部市街地整備課にて作成	事後評価の実施時期 令和3年1月
	公表の方法 さいたま市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・日進駅南口駅前広場整備及び七夕通り美装化により、駅前空間、道路空間が大きく改善され、歩行者自転車交通量の増加や、歩行者通行環境改善の満足度を得られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・日進駅南口駅前広場整備により、歩車分離空間や交通結節機能の形成により歩行者の安全性や利便性が向上した。また、まちの玄関口である駅前広場の景観形成が図られ、住環境が向上した。 ・地元まちづくり組織と連携することで、地元意見を反映した施設整備となった。 ・駅前広場、七夕通りの美装化により、歩行者が快適に利用できるとともに、まちに賑わいが生まれる1つの要素となった。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・整備を実施した駅前広場や道路などのインフラ施設について、環境美化活動などで地元と協働しながら、適切に維持管理を行い、施設の状態を良好に保ち、継続的に整備効果を維持していく。 ・現在実施している市道30790号線その他生活安全道路や排水施設の整備推進を図り、安全で良好な市街地の形成と居住環境の整備を図る。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標 1 七夕通り歩行者自転車交通量	
	最終目標値	7940台
	最終実績値	8961台
2	指標 2 歩行者通行環境改善満足度	
	最終目標値	50%
	最終実績値	71%
3	指標 3 七夕祭りの入り込み客数	
	最終目標値	158000人
	最終実績値	161250人

事前評価チェックシート

計画の名称： 日進駅周辺地区(2期)都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 さいたま市総合振興計画、さいたま市都市計画マスタープラン)	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○